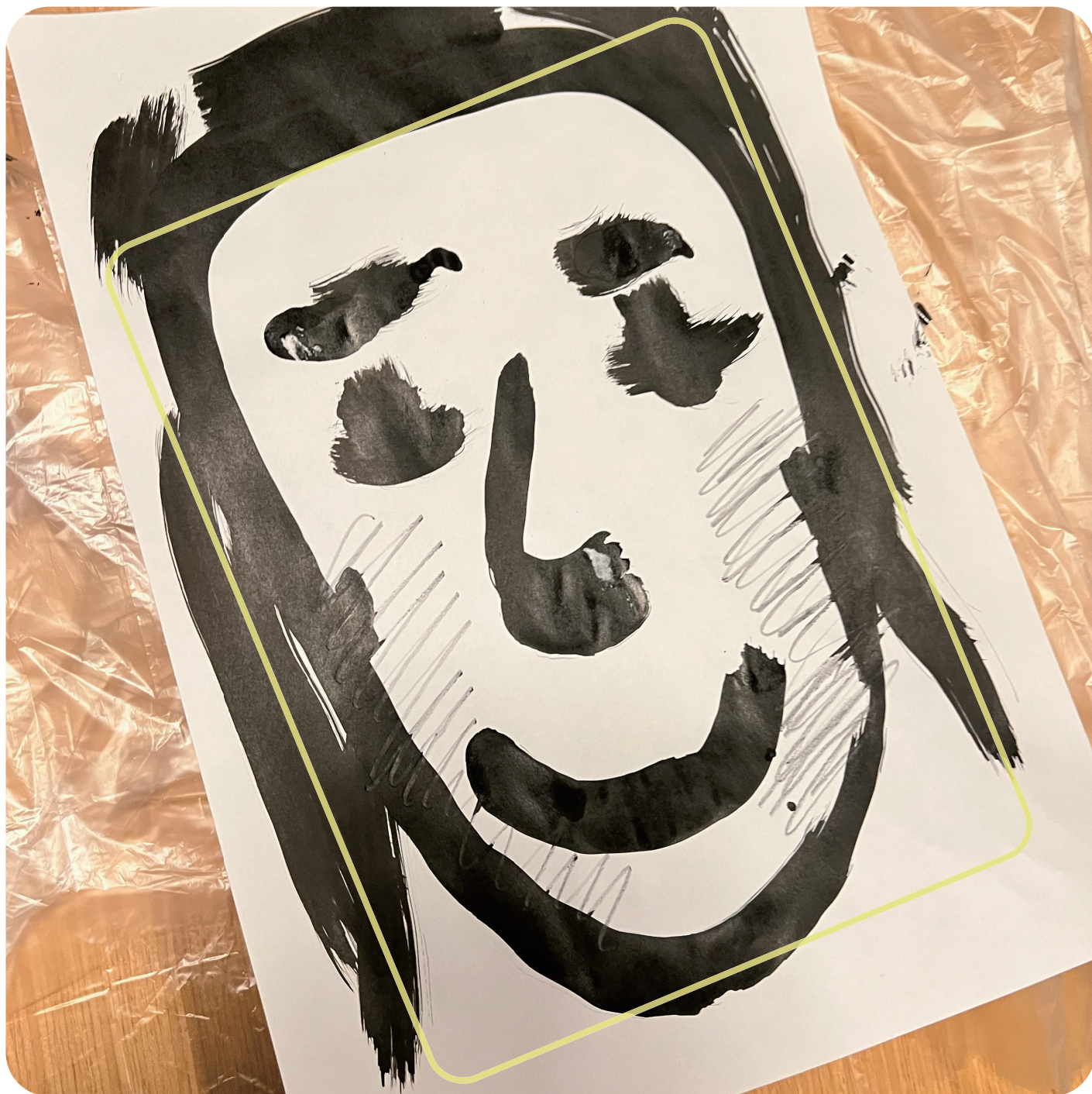


8月31日 [日] 13:00 - 16:00

@名古屋文理大学
情報メディア学科

高校生(既卒対象含む)対象
ワークショップ



2025年度 名古屋文理大学 情報メディア学科主催 ワークショップ

AIは **顔** を どう見るか？

ワークショップ講師

村山 悟郎

画家、アーティスト

申し込みはこちらから



NAGOYA
BUNRI

AIは<顔>をどう見るか？

今年度のBUNRI MEDIA WORKSHOPでは、現代美術の世界で活躍する村山悟郎氏をゲストに迎え、「認識におけるAIと人間の差」を考えます。

じつは、一見リアルなく顔が絵に描かれていても、顔検知システムは必ずしも反応するわけではありません。では、私たち人間が認識するく顔と、AIが認識するく顔はどのように違うのでしょうか？

本ワークショップでは、参加者が実際にく顔を描き、スマートフォンでそれを検証することで、AIと人間の認識の差を体感しつつ、「認識」とはどういうことかを一緒に考えます。



村山 悟郎（むらやま・ごろう）画家、アーティスト

1983年、東京生まれ。博士（美術）。自己組織的なプロセスやパターンを、絵画やドローイングをととして表現している。また、科学技術とのコラボレーションによって、AIのパターン認識 / 生成やAIと人間の感性の理解を探るなど、表現領域を拡張している。現在、東京大学特任研究員。

2010年、shiseido art egg 賞（資生堂ギャラリー）受賞。2015-17年、文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンにて滞在制作。近年の主な展覧会に、「瀬戸内国際芸術祭 2025」（女木島、2025）、「記憶——リメインプランス：現代写真・映像の表現から」（東京都写真美術館、2024）、「ICC アニュアル 2022 —— 生命らしきもの」（NTT ICC、2022）、「Drawings - Plurality」（PARCO MUSEUM TOKYO、2022）などがある。

BUNRI MEDIA WORKSHOP 2025

名古屋文理大学ワークショップサイト <https://www.nagoya-bunri.ac.jp/admission/workshop/>

申し込みはこちらから



BUNRI MEDIA WORKSHOP

BUNRI MEDIA WORKSHOP とは、2018年度より情報メディア学科の教員・学生が主体となって実施している、高校生を対象とした情報メディアワークショップシリーズです。これからの情報メディアのあり方を高校生が考えるためのきっかけ作りを目的とし、設立されました。

総合型選抜 高大接続入試〈ワークショップ参加型奨学生〉について

ワークショップでの成果や意欲・積極性などと面接を併せて総合的に評価する入試です。情報メディア学科の学修に強い意欲を持ち、ワークショップに参加することで、主体性・能動性を含めた評価をフィードバックし、それに基づき出願後、面接試験を行います。

奨学生としての合格者には入学金相当額（200,000円）の奨学金を付与します。ただし、選考結果によっては奨学生ではない（奨学金を付与しない）合格を出す場合もあります。本入試の詳細につきましては、学生募集要項やWebサイトをご覧ください。入試広報課までお問い合わせください。

対象	高校生（既卒者含む）
申し込み期間	2025年7月1日〔火〕 - 8月18日〔月〕
開催日時	2025年8月31日〔日〕 13:00 - 16:00
会場	名古屋文理大学
主催	名古屋文理大学 情報メディア学科
申込方法	上記のワークショップサイトの「申込フォーム」から必要事項をご記入の上、お申し込みください。
参加費用	無料
その他	ワークショップ参加者には、ワークショップ修了証が発行され、本学入学試験「総合型選抜 高大接続入試〈ワークショップ参加型奨学生〉」に出願することができます。